

緩和ケアだより

平成22年度 第2号 (平成22年12月2日発行)

デュロテップパッチからのオピオイドローテーション方法、 ご存知ですか？

デュロテップMTパッチは効果発現時間、消失時間ともに約12時間かかるので、
ローテーション時には注意が必要です！！

12時間徐放性オピオイド（オキシコンチン、MSコンチン）からデュロテップMT
パッチへのローテーション方法：

最後の内服と同時にパッチを貼付



デュロテップMTパッチから12時間徐放性オピオイドへのローテーション方法：

パッチを剥がした6時間後から内服開始



デュロテップMTパッチからオピオイド持続注（モルヒネ、フェンタニル）への
ローテーション方法：

色々な方法がありますが、そのひとつとして
パッチを剥がした6時間後に持続注を半量で開始、
さらに6時間後通常量へアップ



緩和ケアQ&A

Q. 便秘の薬物療法について正しいものはどれでしょう？（複数回答可）

- (1) 腸蠕動が乏しく直腸内の便が軟便である時にはセンナを選択する。
- (2) 直腸内の硬便により排便がない時は、軟化性下剤を投与する。
- (3) 排便に伴う肛門痛が強い場合には、まず浸透圧製下剤を選択する。

答えは
裏に
あります



第3回緩和ケア研修会 「がん患者のスピリチュアルペインとそのケア」

12月7日(火)19時から、秋田県総合保険センターにて、第3回緩和ケア研修会が開催されます。京都ノートルダム女子大学大学院人間文化研究科教授 村田久行先生より、「がん患者のスピリチュアルペインとそのケア」と題してご講演いただきます。

スピリチュアルケアの概念のひとつに、「人の存在(心の安定)は、3つの柱(時間、関係、自律)によって支えられる」という考え方があります。これは、今回の研修会講師である対人援助論を研究する村田先生が提示した理論です。先生の貴重なお話を聞きながら、みんなで患者さん・ご家族のスピリチュアルケアについて一緒に考えてみませんか？皆さまのご参加をお待ちしております。



第2回緩和ケア研修会「誰でもわかるせん妄のみかた」

10月12日(火)、第2病棟2階多目的室にて、第2回緩和ケア研修会が開催されました。当院精神科教授 清水 徹男 先生より、「誰でもわかるせん妄のみかた」と題して、せん妄の症状や要因、治療などについて、実際の症例をまじえてご講演いただきました。
今年度はあと2回の緩和ケア研修会を予定しています。ぜひご参加下さい。

緩和ケアQ&Aの答え

- (1)○: セナは腸蠕動を亢進させるため、軟便だが腸蠕動が低下している場合には有効。しかし、長期に服用すると耐性を生じやすいため、長期投与を考えるとのであればピコスルファートナトリウム(ラクソベロン)を選択する。
- (2)×: 直腸の硬便を放置して軟化性下剤を増量していくと、直腸内の硬便が排泄された跡に強い下痢を起こす可能性があります。
- (3)○: ラクツロース(モニラック、カロリールゼリー)などの浸透圧下剤は、他の下剤に比べて痙攣を起こしにくい。

